

学級活動指導案

題材名「がんから命を守るために自分にできることを考えよう」〔学指要領：(2)、ウ〕

令和7年9月30日(火) 第5校時 5年

I 議題(題材)の構想

1 育成を目指す資質・能力及び児童(生徒)の実態

	資質・能力	児童(生徒)の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんについては6年生の保健の授業で学習するため、がんに関する知識はそれほど多くはない。 ・ 事前アンケートにおいて、生活習慣が罹患の一因となることや予防に繋がると考える児童は9割程度おり、生活経験の中で漠然とした知識を身に付けていることも考えられる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりの意見をもち、友だちと交流しながら考えを広げたり、自己決定したりすることができる児童が多数いる。一方で、自分の考えをもったり、友だちの考えを聞き、それを基に自分の考えを深めたりすることを苦手とする児童も数名いる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成したりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己や学級の課題を意識し、行動に移そうとする態度が見られるようになってきた。 ・ 事前アンケートにおいて、「長生きをするために健康な体づくりに取り組もうと思う」と回答した児童は、ほぼ10割である。

2 評価規準

知識・技能	○日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。
思考・判断・表現	○日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。
主体的態度	○自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 指導及び評価、ICT活用の計画

過程	日時	主な活動	目指す児童(生徒)の姿(観点)〈評価方法〉
事前	9/12	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんに関する事前アンケートで、がんに関する既存の知識や自身の生活習慣を振り返るとともに、学習の見直しをもつ。(a) ・ 看護師の方の話を聞いてがんに関する知識を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんを予防するために自己の生活を見直し、実践することの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 (知・技)〈ワークシート〉
	9/16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活を見直して望ましい生活習慣にする方法を考える。 ・ T3(加賀美教諭)の話を基に、がんに対する知識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができる。 (思・判・表)〈ワークシート〉

	継続	・ 2週間、チェックシートに沿って生活し、振り返り、改善することで次時へ繋げる。	> ・ 自己の生活をよりよくするため、自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。(主体態) <ワークシート
本時	9/30	・ がん経験者であるT2 (新井教諭) の話を聞いて、健康と命の大切さに対する考えを深め、身近な人のためにできることを考える。	※展開参照
事後	継続	・ 1週間、目標に沿って生活し、振り返り、改善することで次時へ繋げる。	・ 自己の生活をよりよくするため、自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。(主体態) <ワークシート
	10/7	・ がんについて学習したことを基に標語を作成する。(令和7年度がん予防標語コンクール) ・ 事後アンケートでこれまでの学びや自身の変容を振り返る。(b)	・ がんに対する正しい知識や自分が考えたことを基に、標語を作成しようとしている。(主体態) <ワークシート

* 活用するコンテンツ等 : (a) <http://forms.gle/qQFSGC2Rw51aVYYU7>
(b) <http://forms.gle/XcVkg1r6GgELB7Tg9>

II 本時

- ねらい がんを罹患した経験をもつ人の体験談を基に話し合うことを通して、健康と命の大切さに対する考えを深め、身近な人のためにできることを意思決定できるようにする。

2 展開

	主な活動 予想される児童(生徒)の意識 [S]	○指導上の留意点 ◆目指す児童(生徒)の姿(観点)
つかむ	<p>1 本時のめあてをつかむために、既習事項を振り返る。(5分)</p> <p>S : 自分だけでなく、周りの人もがんになる可能性がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 身近な人のために自分ができよう。</p> </div>	<p>○児童主体でめあてを決められるようにするため、「自分ががんにならないようにするためにできること」を振り返り、「がんになる可能性があるのは自分だけか」を問い掛ける。</p>

<p>さぐる</p>	<p>2 がんを罹患した経験をもつT2（新井教諭）の話を聞いて心に残ったことを話し合う。（10分）</p> <p>S：やはり生活習慣が関わっていそうだ。 S：がんに罹るのは辛いし、闘病も大変だけど、自分や家族のために前向きに頑張っていたことが分かった。 S：周りの人の支えが大きな力になっていた。 S：定期検診などの早期発見が治すことに繋がる。</p>	<p>○児童の恐怖心を煽らないようするために、「生活習慣が関わること」、「がんに罹っても前向きに力強く生きていること」、「周囲の支えの重要性」、「命の大切さ」などに目を向けられるような内容となるようT2と事前打ち合わせをしておく。また、事前指導で「早期発見や治療で治る病であること」を伝えておく。</p> <p>○聞き逃すことがないように、メモ欄のあるワークシートを配布し、適宜メモを取るように伝える。</p> <p>○感じたことを全体で共有できるよう、「話を聞いて心に残ったこと」を問いかける。</p> <p>○4観点（「食事」「運動」「睡眠」「ストレス」）が関わっていることに改めて目を向けるようにするため、既習事項を想起するような意図的な問いかけを行う。また、それだけでなく、家族が心の支えになっていることに気付けるような発問をする。</p> <p>○「見付ける」において課題解決の手立てとなるようにするため、キーワードを板書する。</p>
<p>見付ける</p>	<p>3 身近な人のために自分ができることを考え、話し合う。（グループ→一斉）（20分）</p> <p>S：まずは家族ががんに罹らないようにするためにできることがあるはず。 S：健康的な食事を勧めてみる。（食事） S：家族で運動してみる。（運動） S：家族が早く寝られるように、手伝いをする。（睡眠） S：自分のことは自分でやって、ストレスがかからないようにする。（ストレス） S：定期検診の話をしてみる。（その他）</p> <p>S：がんにかかってしまったら、何をしてあげられるか。 S：自分の事や他の家族のことも、できることは自分でやる。 S：罹った本人が一番大変だから、心の支えになるように、前向きな声掛けをする。</p>	<p>○児童が考えたり、思考を整理したりできるように、「身近な人ががんに罹らないようにするためにできること」「身近な人ががんに罹った時にできること」という視点で考えるよう促す。前者については、「食事」「運動」「睡眠」「ストレス」の観点を提示し、課題解決の手立てとなるようにする。</p> <p>○児童がじっくりと考えられるようにするため、事前に配布しておいた付箋に自分の考えを記述する時間を確保する。</p> <p>○「身近な人ががんに罹った時にできること」に関して想像することが困難な児童については、自分の考えをもてるようにするために、授業者、T2、T3で机間巡視をし、「自分が罹ったら周りにどうしてほしいか」などの発問を通して、自分ごととして捉えさせる。</p> <p>○グループ学習において他者の考えを基に考えを広げたり、深めたりできるように、台紙に付箋を貼りながら話し合うようにする。また、グループ学習の際に具体的な目標や有効な手立てを設定している児童の考えを見取り、一斉指導の際に意図的に指名する。</p> <p>○「決める」において自己決定をしたり学びを振り返ったりするための手立てとなるよう、「身近な人ががんに罹った時にできること」「身近な人ががんに罹らないようにするためにできること」という視点で、出された意見を板書する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆目指す児童の姿（思）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋の内容から「健康と命の大切さや、がん患者との関わり方を理解し、自分にできることを考えているか」を評価する。 </div>

決める	<p>4 個人の目標を決め、本時の学びを振り返る。(10分)</p> <p>S：自分だけでなく家族もがんに罹らないように、日頃から家族の健康に気を配り、休みの日には一緒に運動する。</p> <p>S：家族ががんにかかった人がいたら、前向きな言葉をかける。自分のことは自分でやるようにする。</p>	<p>○他者の意見を基に自分の考えを広げたり、深めたりできるように、数名の「自分にできること」と「振り返り」をタブレットで撮影しておき、電子黒板で共有する。</p> <p>○振り返り際には、個人の目標設定に至るまでの自らの学びを振り返ることができるよう、「なぜその目標を設定することができたのか」を問う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆目指す児童の姿(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの内容から「健康と命の大切さや、がん患者との関わり方を理解し、自分にできることを考えているか」を評価する。 </div>
	<p><振り返り></p> <p>S：新井先生の話聞いて、身近な人ががんにかかった時には、前向きになるような言葉掛けが大切だと思った。また、友だちの意見を参考にして、自分のことは自分でやるようにして、家族にストレスをかけないようにしようと思った。</p>	

(板書計画)

<p>㊦ 身近な人のために自分ができることを考えよう。</p>	
(新井先生の話聞いて)	(大切な人のためにできること) ※班活動後全体共
<p>(キーワードは・・・)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣(食事・運動・睡眠・ストレス) ・定期検診・早期発見 ・家族の存在(言葉がけ・がんばる姿・いつも通り) 	<p>○身近な人がかからないように・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけでなく家族もがんにかからないように、日頃から家族の健康に気を配り、休みの日には一緒に運動する。 <p>○身近な人がかかった時・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族でがんにかかった人がいたら、前向きな言葉をかける。自分のことは自分でやるようにする。

(電子黒板活用計画)

<p>① 「大切な人のために自分ができること」を共有 ※自己決定後</p> <p>② 「振り返り」を共有</p>
--